

中国電力グループ キャッシュ・マネジメント・システム(CMS)の 導入について

当社グループでは、グループ内での資金調達および貸付を従来から行っておりますが、グループ資金管理のさらなる充実を図るため、「キャッシュ・マネジメント・システム(CMS)」を導入し、グループ会社の資金を一元的に管理して、グループ全体の資金調達コストの削減、資金管理業務の効率化を図ることといたしました。今回導入するCMSでは、主に、グループ企業を対象に日々の預入・貸付を行う「プーリング業務」と「支払代行業務」を行います。

1.プーリング業務および支払代行業務の概要

(1)プーリング業務(平成17年2月実施予定)

グループ企業の運転資金、余裕資金を日々預かり、グループ企業の資金不足に対する貸付を行います。

(2)支払代行業務(平成17年4月実施予定)

グループ企業分のグループ外支払いを代行して行います。また、中国電力およびグループ企業間同士の決済は、債権・債務の付け替えにより行います。

2.CMS導入の効果

CMSの導入により、グループ全体の資金繰りが管理でき、資金効率の向上が図れます。また、業務の集約化による効率性の向上が期待できます。

各業務による具体的な効果は以下のとおりです。

- (1) プーリング業務および従来のグループ企業向け融資により、外部資金調達が削減でき、連結有利子負債の圧縮が図れます。
- (2) 支払代行業務により、グループ企業各社の振込手数料の削減が図れます。
- (3) 中国電力を含むグループ企業間の決済を、債権・債務の付け替えで行う

ことから、振込手数料の削減が図れます。

3.CMSの運営

主たる統括的な業務は、グループ会社である株式会社エネギア・ビジネスサービス(社長:亀井清志,住所:広島市中区国泰寺,当社の100%出資)へ委託して行います。

支払代行業務については当社が行います。

4.今後の対応

当社および連結子会社23社

以上